



東北地方太平洋沖地震におきまして、多くの方がお亡くなりになられたことに対しお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様をはじめ、避難生活を余儀なくされておられます皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

京都府府民生活部

## 消防団幹部訓練が開催されました！

～ 「熱い気持ちを技術へ」 ～

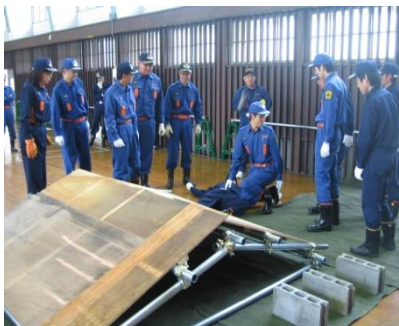
消防団幹部の参加する消防団員幹部教育初級幹部科が5月14日(土)に北部で、5月28日(土)に南部で開講されました。

東日本大震災への対応でも明らかになったように、消防団には震災など実災害に対応した技能が求められており、実技訓練として、「倒壊建物からの救助救出訓練」「心肺蘇生法を用いた救急訓練」などが、府立消防学校教官の熱い指導の下行われました。

それでは、訓練の様子を少しのぞいてみましょう！

5月28日(土)の南部訓練の様子。

あいにくの雨でしたが、府立消防学校屋内訓練場にて、活発な訓練が行われました。



使用する資機材

救助救出訓練の様子。

倒壊建物からの様々なケースでの救出を想定し、指揮者としての活動隊員の指揮要領及び安全管理について学びます。地域の防災リーダーとして市民への指導方法についても学びます。



模擬倒壊家屋からの救出を試みています。

指揮官から指示が飛び、活動隊員が各自の役割を把握します。「旺盛な指示を！」



救出できました！



救急訓練の様子。

心肺蘇生法など、地域の防災リーダーとして市民への指導方法について学びます。

礼式訓練の様子。

みなさんきびきびとした動作で何も言われずとも体が動いていました。組織活動の基礎ですね。「活発な声量を！」



### TOPICS

## 住宅用火災警報器を設置しましょう！！

- ・平成23年6月1日、府内全市町村で設置が義務化
- ・京都府では全市町村が、寝室と階段室に加え、台所にも設置を義務づけています。(新築住宅は平成18年6月1日から既に義務化されています。)



京都府内の平成22年中の建物火災件数(速報値)は増加しています。

・件数：358件(前年比+2件)

※平成22年中(1月～12月)の速報値であり、今後、若干の変更となる可能性があります。

**火災を防ぐため、未設置住宅は、早急に設置を！周りで未設置の住宅へは設置の呼びかけを！**